

文化と宗教

2017年追試

問2 多文化主義についての記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 多文化主義においては、一つの社会にも複数の文化が存在することを認め、マイノリティの文化を尊重することが求められる。
- ② それぞれの文化の差異を対話によって統合する多文化主義の立場においては、異文化を否定する同化主義に陥る危険性が常に存在している。
- ③ 多文化主義においては、多様な宗教の違いを積極的に認め、互いに尊重し合うことによって共生を実現しようとする姿勢が求められる。
- ④ それぞれの文化の独自性を尊重する多文化主義の立場においては、社会統合を阻害しかねない多極化の危険性が常に存在している。

問8 次の文章は、サイドが「新たな連携関係」について論じているものである。その内容の説明として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

今、私たちは、国境を越え、ステレオタイプを越え、民族を越え、本質を越えて形成される新たな連携関係が急速に生まれつつあることを感じ始めている。このような新たな連携関係の出現によって、かつて文化的思考の中心をなしていた、根本的に静的なアイデンティティ概念が問い直されているのだ。ほぼ五百年前に始まったヨーロッパ人とその「他者」との交流を通して存在してきたのは、「我々」と「彼ら」というものが、それぞれ極めて固定した、明白な疑う余地のないほど当たり前のものとして存在しているという考え方だった。……しかし、「我々」は「我々のもの」だけにもっぱら関心を寄せるべきであるという立場を私は断固として却下する。……すべての文化は重なり合っている。

単一で純粋な文化などない。すべての文化は雑種的かつ異種混^{こんこん}淆^{こう}的で、異様なまでに細分化され、一枚岩的ではないのだ。

(『文化と帝国主義』より)

- ① 新たな連携関係においては、所属する国や民族、背景とする歴史の異なる「我々」と「彼ら」が、互いの差異に関心を寄せつつ、おのおの固有の純粋な文化を守り育てていくことが求められている。
- ② 新たな連携関係においては、所属する国や民族、背景とする歴史の異なる「我々」と「彼ら」が、互いを隔てる境界線を侵犯せず、これまでの安定した関係を維持したうえで協力していくことが求められている。
- ③ 「我々」と「彼ら」という従来の枠組みを越える、新たな連携関係が出現し、私たちが人間という一つのアイデンティティをもつものであること、無数に細分化された文化を統一し得る主体であることが明らかになっている。
- ④ 「我々」と「彼ら」という従来の枠組みを越える、新たな連携関係が出現し、アイデンティティが固定したものではないこと、そもそもいかなる文化も一枚岩的ではなく、重なり合うものであることが明らかになっている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第1問	問2	2	②	2
第1問	問8	8	④	3

2014 年本試

問 9 異文化理解に関する記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

9

- ① 自分が慣れ親しんだ文化とは異なった文化に出会ったときに心に生じる違和感や衝撃は，カウンター・カルチャーと呼ばれる。
- ② 少数派の文化を，多数派の文化のなかに同化・吸収させる，ノーマライゼーションの考え方が，文化統合においては尊重される。
- ③ 自民族と他の民族の文化や価値観の違いを積極的に認め，互いに尊重し合おうとする考え方は，パターナリズムと呼ばれる。
- ④ 文化の異なる人々に接するとき，決まり切った考え方やイメージの枠組みであるステレオタイプに当てはめて相手を判断しがちである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 9	9	④	2

2013 年追試

問 8 異なる文化の理解に 関^かわる様々な見解についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① どの文化もそれぞれに固有の価値をそなえており、互いの間に優劣の差をつけることはできないとする考え方は、文化相対主義と呼ばれる。
- ② 西洋と東洋とを区別し、東洋の文化を先進的とみなすことで西洋の文化の目指すべき理想とする考え方は、オリエンタリズムと呼ばれる。
- ③ 伝統文化の価値を再評価し、文化的実践を通して伝統の喪失に抵抗しようとする考え方は、対抗文化(カウンターカルチャー)と呼ばれる。
- ④ 自民族や自文化の価値観を絶対視せず、他の民族や文化にも積極的な価値を認めようとする考え方は、エスノセントリズムと呼ばれる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 8	8	1	2

2011 年追試

問 5 次のア～ウの記述のなかで，多文化主義に基づいて社会統合を目指した政策が，かえって社会的対立を招いてしまう例として適当なものを正，適当でないものを誤とした場合，その組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。

35

ア 一夫多妻制を認める文化圏から，ある男性が数人の妻を伴って一夫一婦制をとる X 国へ移住してきた。X 国はこの移民家族の重婚を認める決定を下したが，この決定をめぐる，主流派国民の間であくまでも X 国の法律で処罰すべきとする抗議行動が起き，移民集団との対立が表面化した。

イ Y 国においては，移民・難民のための多文化・多言語教育に膨大な予算が投入されている。その結果，主流派国民の間で，なぜ一部の人のためにそこまでするのかという「逆差別」意識が醸成され，主流派国民の文化も多文化の一つとしてもっと保護されるべきだという排他的な意識が高まった。

ウ Z 国には，ベールなどの常時着用を義務づける宗教を信仰する移民が数多く暮らしている。Z 国は，この宗教的慣習を公共の場で実践することを，政教分離の原則に違反するという理由から禁止する法令を發布した。その結果，この法令への賛否をめぐる激しい対立が生じた。

- | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ② | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ③ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ④ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 誤 |
| ⑤ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ⑥ | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ⑦ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ⑧ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 誤 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第5問	問5	35	⑥	3

2006 年本試

問 3 異文化理解についての記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

33

- ① 古代ギリシア人たちが異民族を「バルバロイ」と呼んで ^{さげす} 蔑んだように、人は往々にして、自民族や自文化の価値観を絶対のものとみなした上で他の民族や文化について判断を下そうとする、エスノセントリズムに陥りがちである。
- ② どの文化もそれぞれに固有の価値を備えており、互いの間に優劣の差をつけることはできない、とする文化相対主義は、人が文化の多様性を認め、寛容の精神に基づく異文化の理解へと歩を進める上で、一定の役割を果たしうる。
- ③ パレスチナ生まれの思想家サイードは、近代において西洋の文化が自らを東洋と区別し、東洋を非合理的で後進的とみなすことで西洋自身のアイデンティティを形成した過程を指摘し、その思考様式をオリエンタリズムと呼んだ。
- ④ 一つの国家や社会の中で異なる複数の文化が互いに関わり合うことなく共存できるよう、その障害となる諸要素を社会政策によって除去する必要がある、と考える多文化主義の立場は、それ以前の同化主義への反省から生まれた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 5 問	問 3	33	④	3

2005 年追試

問 1 文章中の に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。

19 世紀から 20 世紀にかけては、国家意識や民族意識を過度に強調する思想が新たな狂信を生み出し、不幸な歴史を引き起こした。例えば 20 世紀のドイツでは、ファシズムが台頭して少数民族や反対意見の持ち主を抹殺しようとしたり、悲惨な戦禍が生じたりもした。こうした現実の中で、宗教上の寛容だけにとどまらない新たな寛容論の展開が見られるようになる。 が強まった時代に対応した寛容論は、「寛容を実行し、且つ、善良な隣人として互いに平和に生活し、国際の平和及び安全を維持するためにわれらの力を合わせ、……」という国際連合憲章の記述に結実した。さらに 1990 年代以降に各地で民族紛争が表面化したことは、異なる文化との平和的共存を説く寛容論の重要性を改めて認識させている。

- ① ナショナリズム ② エゴイズム
③ プラグマティズム ④ フェビアニズム

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 1	11	①	2

2000 年追試

問 5 異なった慣習や常識をもつ文化や社会との接触の場面において、それぞれの文化や社会における慣習や常識の間の ^{あつれき} 軋轢 やそれらの無自覚的な押しつけの危険性がある。このような軋轢や押しつけの危険性を示している事例として **適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 外国に工場を作った日本のある企業では、地元の労働力に期待しながらも、日本式の雇用形態や管理の仕方を採用したため、雇用者側と被雇用者側との意思の疎通に問題が生じた。
- ② 日本の学校の授業では、黙って先生の話聴くことが優先されるため、自己主張や積極的な発言が当然のこととみなされている国からの帰国子女の一人は、他の生徒たちからいじめられ、話さなくなってしまった。
- ③ 「以心伝心」と言われるように、日本では言葉によらない意思の疎通が重視されるため、「気が利く人」の評価が高い。ところが、外国から来た同僚は言葉で指示されないと動かないので、人物評価が下がってしまった。
- ④ 日本のように新年に年賀状を出す習慣が相手の国には存在しないという理由から、外国に多くの知人をもつある人は、クリスマスカードは出すが、日本式の年賀状は遠慮して出さない。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 5 問	問 5	33	④	3